

事務事業名		雲南市観光協会運営補助事業		所属部	産業振興部	所属課	商工観光課
総合計画体系	政策名	(V)賑わいあふれる雲南市《産業・雇用》		所属G	商工観光グループ	課長名	中村清男
	施策名	(35)観光の振興		担当者名	奥井雅司	電話番号	0854-40-1054 (内線) 3715
	目的 対象	市外の人	意図	A)雲南市を訪れてもらう。B)市内で消費してもらう。		予算科目	会計 款 大事業 大事業名 0 1 3 5 0 1 観光振興総務管理事業 項 目 中事業 中事業名 0 5 1 5 7 3 雲南市観光協会補助金
	基本事業名	(105)受け地づくりの推進					
目的 対象	市外の人	意図	受け入れる。				

1 現状把握 [DO]

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (18年度～)
② 事業内容	(期間限定複数年度事業は全体像を記述) 合併前まで各町村で組織していた観光協会を統合し、平成18年7月に「雲南市観光協会(本会)」を設立。官民協力協働による観光振興事業を推進。各町村の観光協会は支部組織とし、既存事業を実施。本会は、観光受け地づくり、観光PR、地域資源のネットワーク化等の事業を実施。

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) 観光推進員の配置、観光ガイド事業の実施、新規観光ガイドの養成、道の駅等の職員を対象とした観光情報・道案内に関する研修実施、神話伝承地ガイドブック及び雲南市観光案内パンフレット作成、ホームページ等を活用した観光情報の発信等	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 観光推進員の配置、観光ガイド事業の実施、新規観光ガイドの養成、雲南市観光研究会事業の実施、市内主要イベント聞き取りアンケートの実施、ホームページ等を活用した観光情報の発信、雲南市観光協会組織見直し検討等			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 観光情報発信回数	回	126	367	429	400
	イ 観光ガイド利用者数	人	1,015	2,243	1,667	1,500
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	観光客	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(見込)
			ア 市外人口	千人	128,015	127,758	127,471	126,213
			イ					
			ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	雲南市に観光を訪れてもらう	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
			ア 観光入込客数	千人	885	950	966	970
			イ					
			ウ					

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
事業費 ・負担金補助及び交付金(補助金) 11,415千円 ・委託料(観光推進員配置による観光誘客推進業務) 3,297千円 ・委託料(「オロチの里・雲南」観光案内所設置事業) 700千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円		3,500	3,900	3,800
	その他	千円	5,131	0	0	0
	一般財源	千円	11,887	11,864	11,512	11,415
	事業費計(A)	千円	17,018	15,364	15,412	15,215
人件費	正規職員従事人数	人	9	9	9	
	延べ業務時間	時間	1,500	1,500	1,500	
	人件費計(B)	千円	5,832	5,913	5,877	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	22,850	21,277	21,289	

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
支部における会員数及び会費、予算規模、事業内容等に大きな隔りがある。将来的には会費の統一、観光協会が行うべき事業の取捨選択が必要になると想定されるが、地域の神社仏閣に関する宗教行事・伝統行事が中心であるため、調整は困難を伴う。	支部の事務局を各総合センターで所管しているが、総合センターの見直し方針が示される中、平成22年度より今後の観光協会のあるべき姿について検討を行っている。	これまで行ってきた観光協会等の観光振興策が十分な誘客に結びついていないためか、会員からは観光協会加入のメリットを疑問視する声がある。また、統合により組織が大きくなったことによる会員離れ、会費未納などが懸念される。

事務事業名	雲南市観光協会運営補助事業	所属部	産業振興部	所属課	商工観光課
-------	---------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒	現在、本会の事務局を商工観光課、支部の事務局を各総合センターが担当していることから、官民一体と言いつつ現時点では行政依存度が高いと言わざるを得ない。更なる雲南市への観光誘客のためには、民間からのより主体的な参画が必要と考える。	
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？			
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input type="checkbox"/> 妥当である * 余地がある場合⇒			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	<input type="checkbox"/> 向上余地がない	理由	観光協会各支部において取り組む観光事業は、地域の伝統行事が中心である一方、観光協会本部としては、「交流人口の拡大」という大きな目標がある。県内外からの観光客の動向及びニーズを把握しつつ、観光協会として取り組むべき事業を見直す必要がある。	
C 効率性	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？			
	<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	理由	現状では観光振興を行う組織は観光協会以外にない。また、集客力のある観光イベントの実施主体でもあり、イベントの実施ができなくなれば、市内への観光入り込み客数の減に繋がる。
	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？			
<input type="checkbox"/> 他に手段がある	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる	(具体的な手段や類似事業名)		
<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	理由	官民一体となって観光振興を行う組織は観光協会以外にない。	
D 公平性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	既存地域イベント等の実行主体という役割を整理し、観光客誘致と観光消費による地域商業活性化に向けた、より効果の高い事業に特化することで事業費の削減は可能と考える。
	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？			
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	<input type="checkbox"/> 削減余地がない	理由	民間等に事務局を移管することにより、人件費削減が期待できる。また、支部において伝統行事等の事務局を兼任している場合があるが、これらを整理することで人件費の削減に繋がる。	
評価の 総括	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？			
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input type="checkbox"/> 公平・公正である	理由	各支部ごとに会費の金額が違うことから、受益者負担の面からは公平と言えない。
① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)		
A 目的妥当性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	「賑わいあふれる雲南市づくり」や「交流人口の拡大」には、「観光の振興」施策が必要不可欠な施策のひとつである。これに官民協働で取り組む観光協会の存在は重要で期待度も高いが、観光協会として取り組むべき事業の精査や、より民間からの参画を促す必要があると考える。	
B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
D 公平性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	●																						
	維持			×																				
	低下		×	×																				
<p>交流人口の拡大を図る上で、官民一体となった観光協会の役割は重要であるが、より民間からの主体的な参加を促す必要がある。観光協会がすべき観光振興事業の整理を行うとともに、将来的には事務局を民間に移管することも視野に入れる。 中国横断自動車道尾道松江線が高速道路網と繋がり、観光入り込み客の受け入れ体制の拡充が緊急の課題であることから、観光協会事業の重点をどこに置か、検討が必要である。</p>																								